

平成 26 年度 行政経営方針のポイント

1 基本的な考え方

(1) 第六次総合計画改訂版の推進

- 多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られている。
- 計画期間 2 年目となる平成 26 年度は、今後の前橋市の未来づくりをリードする施策を積極的に展開することが求められる。

(2) 行政経営方針の位置づけ

目指すべき将来都市像の実現に向け、平成 26 年度における市政の重点施策を選定し、予算編成との連動を図ることで、「選択と集中」や「成果志向」の視点に立った先見性ある行政経営の仕組みを構築する。

2 平成 26 年度 行政経営方針

以下のキャッチフレーズのもと、「民間共創」、「産業づくり」、「歴史・文化」の 3 施策を平成 26 年度の重点施策に選定し、特に力点を置いて取り組む。

市民の英知とともに、眠れる^{つたえ}県都の宝を磨き、発信よう

重点施策 1

「民間共創」により、質の高い行財政運営を目指します

- 多様な担い手との「協働・連携」や「民間活力」の積極的な活用による新たな事業創出と社会的課題の解決
- 市民の利便性を高める「ICT 技術」の活用や「新たなデマンド交通」の検討
- 「ファシリティマネジメント」や「行財政改革」の推進による経営の効率化

重点施策 2

次代を担う前橋ならではの「産業づくり」に挑戦します

- 「中小企業振興基本条例」や「産業振興ビジョン」に基づく市内経済の活性化
- 6 次産業化をはじめとする「農業」の価値向上
- 地域特性を活かした「新エネルギー」の導入促進

重点施策 3

地域の「歴史・文化」を磨き、新たな魅力を発信します

- さらなる魅力発信に向けた「文化・スポーツ・観光」分野の充実・強化
- 「文化振興条例」の制定や「近代歴史遺産」の活用
- 「アーツ前橋」を核とする多様なアートプロジェクト